

充電体験・EV試乗会のすすめ

2026年4月

(一社) 日本自動車工業会

充電インフラTF

はじめに

充電体験/EV試乗会のすすめ

2050年カーボンニュートラル(CN)に向けた多様な選択肢の一つとして、自工会各社はEV等の電動車の普及に取り組んでおります。そして、電動車がストレスなく誰でも保有可能な社会となるためには、必要なインフラ整備が全国に広く普及することが重要です。

そのような中、一部の集合住宅の管理組合では敷地内に居住者向けの充電器を設置される事例も出てきております。しかし充電器設置というハードと相まって、充電器の存在や使い方についてはEVの魅力などの知ってもらうソフト面の対応も必要です。

「せっかく充電器を設置したんだけど、知られてなくてこのまま充電器を維持していけるのか不安だ。充電器を知ってもらう活動をしたが充電事業者も協力してもらえないか？」という管理組合の声もいただいております。

この声にお応えし管理組合主催、充電事業者/地域自動車販売会社の協力で「充電体験/EV試乗会」を実施したところ、居住者の方々は興味や関心があることが分かりました。同じ悩みを抱える方々に取り組み事例を公開することで、取組みの輪が広がっていくことが期待されます。

我が国のマンションやアパート等の集合住宅への居住割合は約40%と高い水準にある中、戸建てだけではなく、集合住宅の居住者においてもストレスなく電動車を平等に保有できるよう、「充電器設置済の集合住宅の管理組合」および「集合住宅近隣の地域自動車・二輪販売会社」が「充電体験/EV試乗会」を開催しやすくなるよう、事例と準備の進め方についてまとめさせていただきました。

本取組により「集合住宅の充電器利用」の認知の輪が広がり、誰にとっても便利に電動車に乗れるような環境の整備に繋がりますと幸いです。

充電体験/ EV試乗会のすすめ 本書の目的

- 集合住宅に設置されたEV充電器の充電体験/ EV試乗会を通じ、充電器の利用およびEV普及を促進させることを目的とする
- 本書では、充電器付マンション管理組合、自動車・二輪販売会社を対象として「充電体験/ EV試乗会の実施」に必要な基本情報を提供する（具体的な行動内容は11ページに）

期待される効果

(WIN-WIN-WINの関係構築)

管理組合

- ・充電器を維持しやすく。
- ・EVも選択肢に、おさいふにもやさしい。



自動車・二輪販売会社

管理組合との密な関係構築による商機拡大



充電事業者

- ・充電器の持続的利用
- ・近隣集合住宅への新設チャンス



本書で理解できること

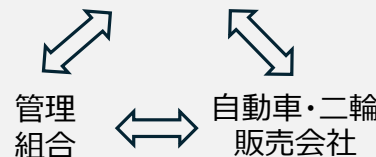
充電体験/ EV試乗会の

1) 実例紹介

2) 準備の進め方

三位一体となった取組み

充電事業者



充電体験/ EV試乗会開催



充電器を設置したが、使われていないようだ。
維持できるのか心配..



集合住宅の方々にEVの魅力、
便利さ知ってもらいたい
新たな販路の開拓も..
でもセキュリティが厳しくて



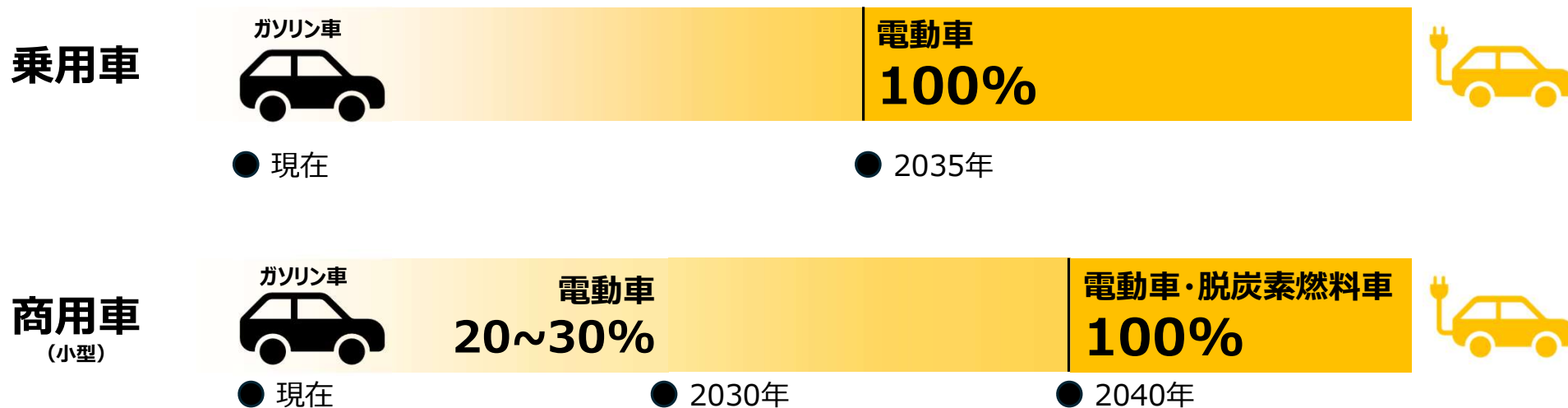
充電器の利用を増やしたい..
自宅充電の便利さを知ってほしい..
周りのマンションにも設置を拡げ
られればうれしい..

充電体験/ EV試乗会のすすめ 目次

	ページ	項目	メッセージ
EV普及 に関して	4	国内におけるカーボンニュートラルの取組み	カーボンニュートラルの一環として車に電動化目標が定められている
	5	EVの自宅充電の利便性	集合住宅に充電器が設置され、その認知活動を行うことでEV普及に貢献する
	6	EVのコストメリット	EVの走行コストはガソリン車より割安
充電体験/ EV試乗会 の紹介	7-8	充電体験/ EV試乗会 って何？	充電器設置済み集合住宅で、割安に自宅充電でできることとEVの魅力を居住者に知ってもらう取り組み
	9	関係者のメリット	充電事業者、自動車・二輪販売会社、管理組合、居住者それぞれにメリットがある
実施に向けた 準備の進め方	10	必要な準備	フローに沿って進めれば、準備ができる
	11	準備フロー	充電事業者への相談～充電体験会実施まで約2～4か月
	12	よくある質問	これでお悩み解決

国内におけるカーボンニュートラルの取組み

- 近年顕著に増加している大雨・豪雨災害の増加、台風・水害などの深刻化を背景として、日本政府は「2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロ(カーボンニュートラル)にする」ことを公式に宣言している
- その活動の一環として乗用車/商用車ともに電動化目標が定められている







[経済産業省 自動車・蓄電池産業 主な今後の取組み](#)

*大型車については2020年代に5,000台の先行導入を目指すとともに、2030年までに2040年の電動車の普及目標を設定。

EVの自宅充電の利便性

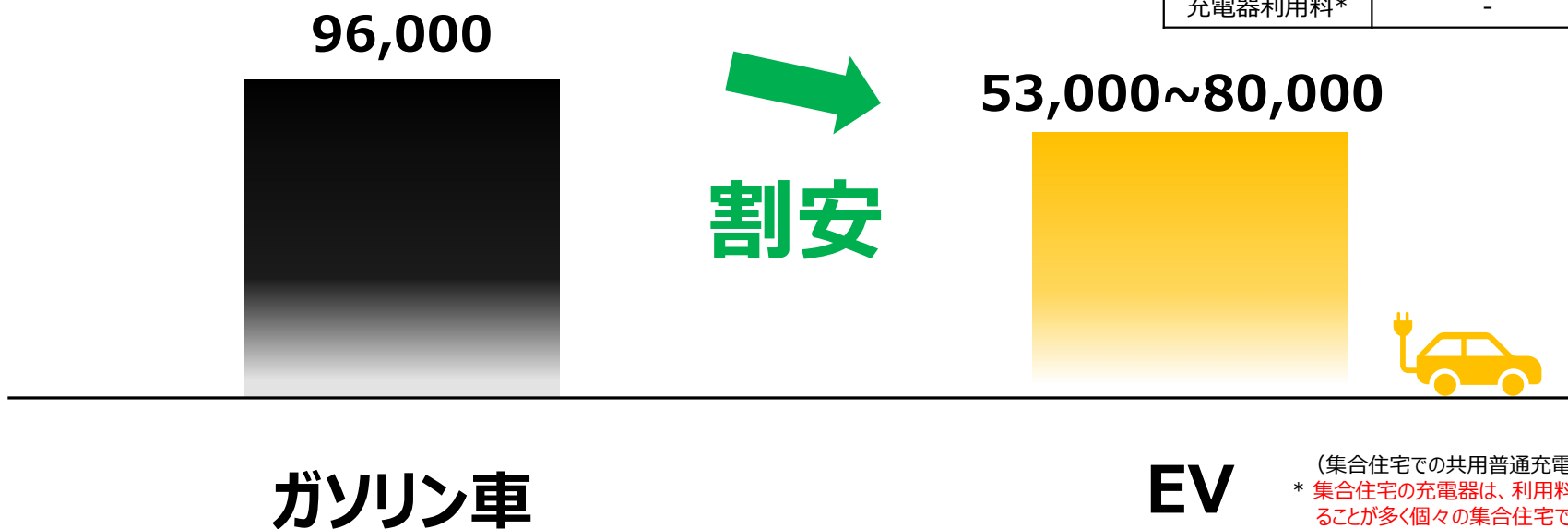
- 自宅で充電できることがEVの利便性の一つ (給油しに行く手間がない)
- 集合住宅に充電器が設置され、その認知活動を行うことでEV普及に貢献する

	Before : ガソリン車だと	After : EVで自宅充電ができるようになると..
エネルギーの供給形態	<p>給油の手間</p> 	<p>普通充電器を設置したマンションでの自宅充電</p> 
メリット、デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・給油のためにガソリンスタンドに行く必要がある ・ガソリンスタンド減少により 給油にかかる手間が増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で寝ているうちに充電できる(スマホ感覚) ・近中距離なら、自宅外充電が不要なことも ・自宅充電は割安 

EVのコストメリット (集合住宅の例)

- EVの走行コストはガソリン車に比べて割安。

ガソリン車 vs EV
年間走行コスト比較*



(計算前提)

	ガソリン車	EV (6kW充電器)
月走行距離	800km	
燃費	15 km/ℓ	-
ガソリン代	150 円/ℓ	-
電費	-	6 km/kWh
充電量	-	6 kWh/h
充電器利用時間	-	22.2h
充電器利用料*	-	200~300 円/h

(集合住宅での共用普通充電器 6kW機利用時)
* 集合住宅の充電器は、利用料金は管理組合で決めることが多く個々の集合住宅でメリットは異なります

充電体験会って何？

- 1) 充電器の設置場所、充電コネクタの車両への接続方法、アプリによる認証の仕方 を実演
- 2) 充電コネクタの車両への脱着を体験。やってみると簡単なことが伝わる。(スマホの充電とイメージを重ねてもらえる)



コンセントタイプの設置例



参加者の顔はプライバシー確保のため一部不鮮明化処理をしています

EV試乗会って何？

- 1) EVの便利さを知っていただくために複数メーカー共同でEV試乗会を実施。
- 2) 事前予約だけでなく、当日の飛び込み参加も可能にすると参加のハードルが下がる。
- 3) 駐車場の出し入れなどは不安も覚える方もいるので、途中までCA運転→広めの場所で運転者交代などの配慮も。



写真は別の試乗会のもを参考として掲載しています

充電体験/ EV試乗会実施による関係者のメリット



充電事業者

充電器の持続的な利用が進む

- ✓ アプリ利用料など、設置した充電器の持続的な利用が進む

充電器新設のチャンスがある

- ✓ 体験会に周辺集合住宅の管理組合などにゲスト参加してもらうことにより、充電器新設のチャンスがある
- ✓ 近隣の充電器設置により、メンテナンスコストの効率化も

自動車・二輪販売会社との連携

- ✓ 商機の拡大の可能性も



自動車・二輪
販売会社

居住者とのコミュニケーションの機会がある

- ✓ 集合住宅はセキュリティ上の問題から、チラシのポスト投函は難しくなっている。居住者の個別了承のもと、顧客コンタクト情報の収集の機会がある。

心理的ハードルが低い試乗会を実施することができる

- ✓ 現在の試乗は居住者の来店が前提だが、気軽に参加できる試乗会でEVの良さを体験してもらうことができる

充電事業者との連携

- ✓ 商機の拡大の可能性も



充電器付マンション
管理組合・居住者

充電器の維持がしやすくなる

- ✓ せっかく設置した充電器の存在と使い方を居住者に知ってもらえる
- ✓ 利用者が増えれば、充電器の持続的な維持が可能に

EVは非常時に電源にもなる

- ✓ 数十kWhの大容量の蓄電池は、災害時のバックアップ電源となりえる

EVが選択肢に

- ✓ 自宅(集合住宅)でスマホ感覚で充電ができる

経済性

- ✓ EVはガソリン車より割安の走行コストなので負担が低減

必要な準備（主な役割例）

- 次ページのフローに沿って進めれば、準備ができる

充電事業者

- ・イベント企画、運営全般マネージメント
- ・説明会、体験会進行要員派遣
- ・アプリ説明会、充電体験会進行
- ・試乗会予約集約
- ・備品の準備など



マンション管理組合

- ・イベント主催者
- ・居住者への告知、参加者の募集
- ・設備の使用許可など



自動車・二輪販売会社

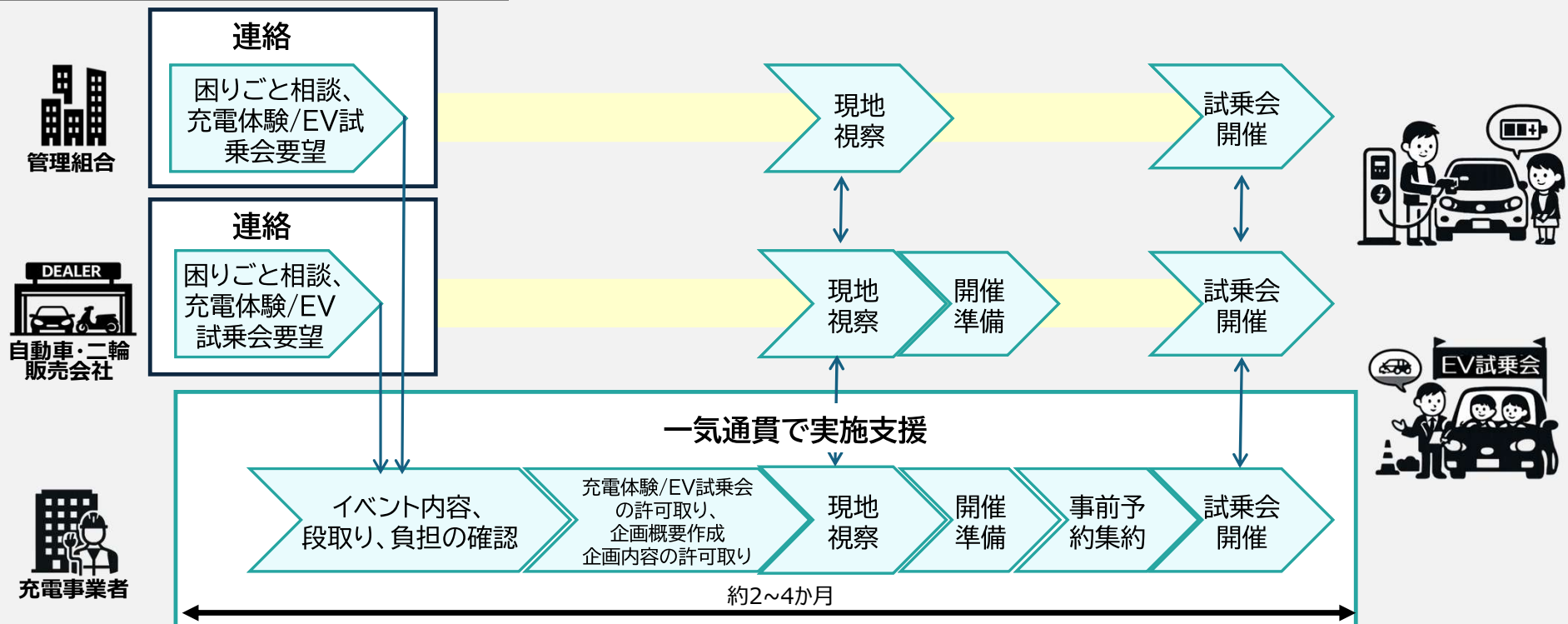
- ・試乗車の準備
- ・試乗要員派遣
- ・試乗コース設定
- ・連絡先記入シートなど



準備フロー (例)

- 充電事業者への相談～イベント実施まで約2～4か月

充電体験/EV試乗会実施スキーム概要



※ 充電事業者や自動車・二輪販売会社によって一部フローや各社の担当業務が異なります

よくある質問

No.	質問	回答例
1	充電事業者ってどうやって調べればいいんですか？	1)充電器に充電事業者のステッカーを貼ってあることが多いです 2)充電器設置を決めたときに契約した書類から充電事業者が分かることが多いです(充電器設置時に工事された地域の電気工事会社ではありません) なお 次ページに充電サービス事業者の参考情報(東京都HP 充電事業者・マンション連携協議会情報) があります。
2	どの充電事業者でも充電体験/EV試乗会ってやってもらえるんですか？	ご相談された充電事業者のご判断を尊重しています。本書は有志の関係者と実際にできた事例とその準備の進め方を広く知っていただきEVの普及に資する目的で公開したものであり、充電事業者、自動車・二輪販売会社、管理組合の責任や義務を規定・意図したものではありません。また本書利用の結果生じた事項につき本書の制作、公開に関わった関係者は一切の責任を負いません。関係者間で合意できることが前提です。
3	お金はかかるんですか？無料じゃないんですか？	関係者間での合意で決めるべき内容です。本書では費用負担について言及しておりません。イベント実施には人件費ほか費用がかかっています。イベントの結果、関係者が受ける便益に応じて、応分負担なり関係者間の協議で決めることになります。
4	まだマンションに充電器は設置されていません。それでも本イベントは実施してしてもらえるのですか？	本書の対象は既に充電器が設置されている集合住宅を想定しています。充電器の設置については管理組合にて決定される内容と理解しており、本書の対象範囲外です。
5	試乗会で万一事故になった場合はどうなるのですか？	試乗会の安全管理については、試乗会を実施される経験を積まれた自動車・二輪販売会社にお任せしています。自動車・二輪販売会社の係員の指示に従ってください。なお試乗会ご希望時には免許証の確認および誓約書のご提出をお願いしております。ご同意いただける場合のみ試乗会にご参加いただけます。
6	充電体験会、EV試乗会どちらかだけでも実施は可能ですか？	可能です。関係者間の合意によります。関係者間の合意を前提にどちらかだけの実施を妨げるものではありません。
7	試乗車はBEVだけじゃないとダメですか？	いいえ、自動車・二輪販売会社の判断によりBEV以外も加えることも可能です。
8	充電体験、EV試乗会の主催者は誰になりますか？	集合住宅の管理組合が主催する想定です。充電事業者も自動車・二輪販売会社もサポート業務を行います。
9	居住者以外に不正利用はされませんか？	マンション個別の充電器管理番号を居住者のみにお知らせをすれば、不正利用は防げます。またマンション管理組合が充電器利用者のID管理ができますので、万一漏れたときも不正利用者のIDを利用拒否できます。(一例)

参考情報 充電サービス事業者



- 「東京都マンションEV充電器情報ポータル」内の「充電事業者・マンション連携協議会」には「東京都マンション充電設備普及促進に向けた協議会」の充電事業者例が記載されており、充電サービス事業者の連絡先の参考になります。

<https://www.tokyo-evcharge.metro.tokyo.lg.jp/jigyosha-kyogikai/>

- 検索サイトで下記の検索ワードを入力されることも連絡先の参考になります。
「マンション 充電器設置事業者」で検索

上記をご参考いただき、充電器設置事業者様にコンタクトいただければ良いと思います。

改定履歴

版数	発行、改訂日	改訂内容
第1版	2026年3月27日	初版発行